

【主な事業】

☆は新規事業

事業名	事業費
ガーデンシティみしまの推進	1億8,220万円
☆(仮称)中郷温水池公園整備事業	2,210万円
☆(仮称)大場・雨南IC高架下ポケットパーク整備事業	400万円
など	
三島駅南口(東街区)市街地再開発事業	778万円
東駿河湾広域都市計画区域等見直し事業	2,931万円
街路整備事業	8億7,120万円
三島停車場線修景整備事業	3,102万円
市道整備事業	6億7,055万円
橋梁整備事業	1億4,645万円
公営住宅等の整備	2億440万円
農業者の支援(就農等の支援)	1,745万円
「内陸のフロンティア」を拓く取組	3,356万円
企業立地推進事業	3,893万円
商工業者の支援(起業等の支援)	1,510万円
観光振興	9,443万円
☆静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会負担金	200万円
☆三島市スポーツ・文化コミッション負担金	226万円
など	
☆地域ひとつづくり映画制作事業費補助金	1,500万円
☆スマートハウス設備導入費補助金	1,150万円
☆スマートウエルネスみしまの推進	9億6,003万円
☆みしまタニタ健康くらぶ推進事業	1,000万円
☆周産期医療施設整備事業費補助金	8,081万円
など	
☆文教テニスコート改修事業	1億10万円
☆スポーツ推進計画策定事業	240万円
☆スポーツみしまトップアスリートスプリング・育成事業費補助金	500万円
☆電子黒板・デジタル教科書整備事業	2,711万円
☆各小・中学校トイレ改修事業	8,222万円
☆北中学校改築事業	2,513万円
☆学校教育の支援(支援員等の配置)	1億4,630万円
☆歴史的風致維持向上計画推進事業	736万円
☆日本遺産魅力発信推進事業	15万円
☆市民文化会館施設整備事業	560万円
☆史跡山中城跡再整備事業	2,655万円
☆箱根の里施設補修整備事業	2,972万円
☆(仮称)はつたばた療育支援室整備事業	3,783万円
☆子育て支援の推進	2,596万円
☆子ども医療費支給事業(自己負担額無料化)	4億8,275万円
☆幼稚園特別支援教育サポート事業	3,043万円
☆日中一時支援等事業	676万円
☆高齢者くらし相談事業	951万円
☆敬老事業	8,491万円
☆高齢者バス等利用助成事業	1,873万円
☆生活困窮者自立支援事業	3,845万円
☆各小・中学校非構造部材耐震化事業	9,297万円
☆住民啓発、教育事業	604万円
☆民間住宅の耐震化の促進	5,600万円
☆自主防災組織整備事業費補助金	1,200万円
☆通信指令センター共同運用運営事業	1,901万円
☆消防救急無線整備事業(2市1町通信指令センター整備)	3億1,277万円
☆消防ポンプ自動車等更新事業	1,989万円
☆消防施設整備事業	3,007万円
☆防犯灯LED照明導入事業	1,158万円
☆庁舎整備事業	1,110万円
☆地域コミュニティの充実	3,284万円

(※事業費500万円以上および新規事業を掲載していません。)

各委員会で検証 総額 639億1,234万円

2月定例会初日に提案された平成27年度一般会計予算案ほか各種会計予算案について、6日間にわたり、経済建設、福祉教育、総務の各常任委員会で、2日間ずつ詳細な審査を行いました。最終日の本会議での各委員長からの審査経過の報告のうち、主な内容をお知らせします。

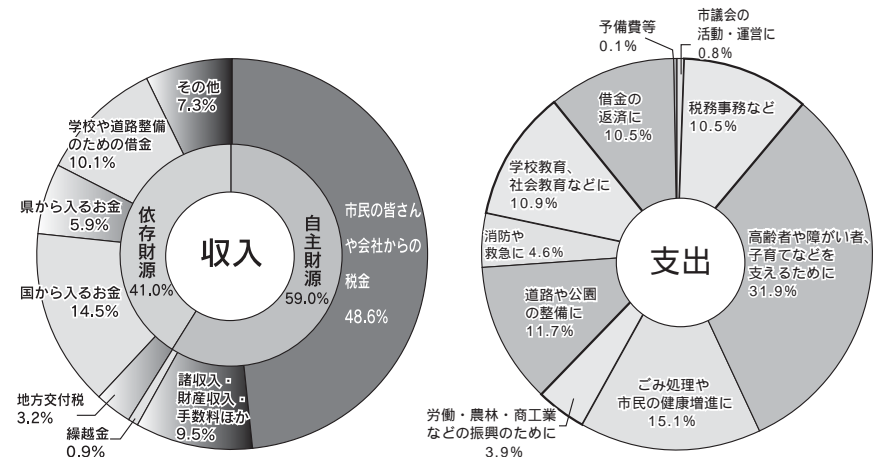
平成27年度各会計別予算

会計別	平成27年度	平成26年度	増減額	増減率	
一般会計	355億3,000万円	358億円	▲2億7,000万円	▲0.8%	
特別会計	国民健康保険	145億3,475万円	123億2,771万円	22億704万円	17.9%
	介護保険	70億7,063万円	71億6,235万円	▲9,172万円	▲1.3%
	後期高齢者医療	11億516万円	11億5,319万円	▲4,803万円	▲4.2%
	墓園事業	424万円	860万円	(注1) ▲436万円	▲50.7%
	下水道事業	33億4,221万円	32億5,683万円	8,538万円	2.6%
	楽寿園	廃止	600万円	(注2) ▲600万円	皆減
	駐車場事業	5,943万円	7,251万円	▲1,308万円	▲18.0%
	小計	261億1,642万円	239億8,719万円	21億2,923万円	8.9%
水道事業会計	22億6,592万円	22億184万円	6,408万円	2.9%	
合計	639億1,234万円	619億8,903万円	19億2,331万円	3.1%	

(注1) 墓園事業特別会計の減額は、納骨堂整備可能性調査の終了などによるものです。

(注2) 楽寿園特別会計の廃止は一般会計への移行によるものです。

一般会計355億3,000万円の収入支出は…





総務委員会（3月9・10日）

所管	一般会計
----	------

財政調整基金

質疑 市税の減収など厳しい財政状況が見込まれる中、財政調整基金の適正額はどの程度を考えているか。

答弁 財政調整基金は標準財政規模の10パーセント、20億円を目標としている。年度間の財源不足のみならず、災害の発生により多額の経費が必要になる場合も想定し、20億円は積み立てておきたいと考える。一時借り入れせずに、繰り替え運用できるようにするためにも、年次計画で積み立てていきたい。

防犯灯維持管理事業

質疑 防犯灯LED照明導入調査業務委託の事業内容、および設置基準はどのようになっているか。また、LED化することによりどのくらいの費用対効果が見込まれるか。

答弁 防犯灯は現在水銀灯と蛍光灯あわせて約6,800基ある。この防犯灯すべての実地調査を行い、LED照明灯の設置箇所の検討を行う。また、設置基準については現在と同様に原則60メートルおきに設置するが、場所や明るさなどを考慮して臨機応変に対応していきたい。また、LED照明は同じ明るさでも消費電力が少ないため、電気料を下げることができる。防犯灯の電気料金が現在年間約4,700万円であるが、これが約2,300万円に削減できることが見込まれる。さらに、LED灯の耐用年数は従来の防犯灯より長いため、修繕料の低減にもつながる。



スマートハウス設備導入費補助金

質疑 平成25年度の事業仕分けで「不要・凍結」との評価結果が出された住宅用太陽光発電システム設置費補助事業は、スマートハウス設備導入費補助金として継続しているが、どのような需要を見込んでいるか。

答弁 この補助金は平成26年度に住宅用太陽光発電システム設置費補助金と住宅用太陽熱高度利用システム設置費補助金を統合し、新たに、家庭用燃料電池、家庭用蓄電池、家庭用エネルギー管理システムを加えて拡充した。市民には大変好評で、平成26年度は予算額を超える申請があり、予算の流用で対応した。平成27年度は、住宅用太陽光発電システムの補助が一番多いと見込んでおり、これまでの利用状況から家庭用燃料電池の件数を増やす一方で、住宅用太陽熱利用システムと、家庭用蓄電池は件数を減らした。また、平成27年度も申請者すべてのかたが補助を受けられるよう対応していきたい。

地域行政懇談会

質疑 地域行政懇談会以外にも地域づくり市民会議などがあり、市民にはその違いがわかりにくい、それぞれの会議の目的や相違点はどのようなものか。

答弁 地域行政懇談会は市と市民で共有すべきさまざまな中長期的課題に対応するため、市が置かれている現状や課題を広く市民に認識していただき、市民と行政が協働で対応策や解決策を検討していくことを目的とした会議である。一方、地域づくり市民会議は地域のきずなづくりを推進し、市内の小学校区で活躍している各種団体のリーダーを集めて、地域の問題は地域の話合いで解決を図るための「地域コミュニティ協議会」の構築を目的としている会議である。また、地域行政懇談会は、5年から30年という長い期間にわたる問題について話し合うことを目的としているため、将来活躍する若い人達の参加が不可欠と考え、その世代の方が参加しやすい環境を作るためには、どのような時間帯が良いのかなど検討を進めていきたい。